

★前進座五月国立劇場公演

佐倉義民伝

さくらぎみんでん

通し上演
三幕六場

身をすてて將軍への直訴を決意する宗五郎

宗五郎の義心に胸は熱くたぎり
妻子との別れに悲しみ極まり

感涙必至、珠玉の名作が
通し上演で新たに花開く

あらずし

四代將軍家綱の治世のこと。下総国佐倉領の村々は数年続きの凶作。藩主堀田上野介はあるうことが年貢の割増しを申し渡す。名主総代の宗五郎は百姓たちとともに江戸の堀田家上屋敷の門前で窮状を訴えるが、願いははねつけられる。最後の思案は、死罪は免れられない將軍への直訴。宗五郎は妻子に別れを告げるためひそかに国もとへ向かう。印旛沼では渡し守の甚兵衛が禁を破って船を出し、ようやく妻おさんと子のもとへ。安堵も束の間、宗五郎は決意を告げ、おさんに去り状(離縁状)を渡し、子らと別れようとするのだが……。

『佐倉義民伝』は、嘉永四年(一八五二)、江戸・中村座初演。前進座では「門訴から子別れまで」の練り上げられた演出で前進座歌舞伎の代表作の一つに挙げられています。今回の上演は「子別れ」の後に、「仏光寺祈念の場」などを含んだ構成で、前進座として五十二年ぶりの通し上演となります。宗五郎役は嵐芳三郎が初役で、至誠、情愛、決死と大きな役どころを凛々しく演じます。女房おさん役は河原崎國太郎が、渡し守甚兵衛役は藤川矢之輔が勤め、それぞれ宗五郎と心通わす様を情感豊かに演じます。劇団ならではの一体感が作り上げる感動の舞台にご期待下さい。

【前進座】昭和六年(一九三二)、若き歌舞伎俳優らによって創立され、二〇一九年に八十八周年を迎える劇団。歌舞伎をレパートリーに持つ貴重な劇団として知られ、国立劇場大劇場での公演は、前進座の看板公演として一九八一年から三十六回を数えます。



藤川矢之輔

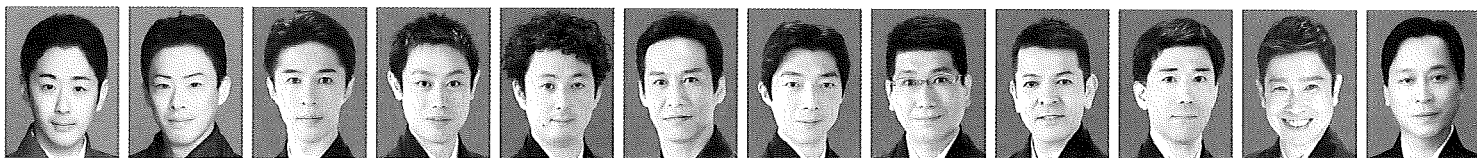


河原崎國太郎



嵐芳三郎

作——三世瀬川如阜
改訂——平田兼三
補綴——小野文隆
演出進行——中橋耕史
装置——熊野隆二
照明——佐藤琢人
音楽——寺田義雄
音楽補——柁屋佐之忠
音楽補——柁屋勝彦
舞台監督——田中佐幸
小野文隆



玉浦有之祐 忠村臣弥 新村宗二郎 藤井偉策 上滝啓太郎 渡会元之 早瀬栄之丞 寺田昌樹 中嶋宏太郎 松涛喜八郎 柳生啓介 益城 宏



山崎辰三郎 武井 茂 山崎竜之介 山本春美 松川悠子 和田優樹 松永 瑠 秋元辰美 嵐 市太郎 松浦海之介 平澤 愛

渡し守の義侠心と親子の情愛に涙！
組合の仲間やご家族との観劇で、
明日からがんばる力にしよう！！

東京土建 統一観劇会

2019年5月19日(日)

11時30分開演

【国立劇場大劇場】

途中30分間の
屋食休憩が入ります！

特別ご観劇料金：一等席 7,000 円

(定価 10,100 円のところ友の会料金に共济会補助がついて)

※他日を希望の場合も、支部を通してお申込みください。

※17日(金) 18:30の部・二等席三等席は補助が付きません。

◆お申込みは、各支部厚生文化部へ◆

2019年5月11日～22日<半蔵門・国立劇場大劇場>

5月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
午前	11:30	11:30	貸切		11:30	11:30	貸切	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30
午後	16:00	貸切					18:30	16:00	貸切			

東京土建特別企画

①開演前の“バックステージ楽屋見学ツアー”
普段は見ることのできない出演者の楽屋を訪ね、
舞台の裏側をちょっとだけのぞいてみませんか？！

■10:30大劇場入口集合■

定員：先着30名(要事前予約)

②終演後の友の会総会

客席を使つての、短時間の総会です。
ご観劇後、そのままご参加ください。